

# 同窓会 だより

信州大学医学部保健学科同窓会事務局  
School of Health Sciences, Shinshu University  
第8号 2010年10月



## —目次—

同総会設立8年目を迎えて	2
同窓会の皆様へ	3
新入教員のご挨拶	4
カーティン工科大学短期留学	6
平成21年度活動報告	8
総会記録	10
平成21年度事業報告	11
平成21年度医学部保健学科同窓会決算書	12
平成22年度事業計画(案)	13
平成22年度医学部保健学科同窓会予算(案)	14
同窓会役員	15
信州大学医学部保健学科同窓会会則	15
編集後記	16

2010  
第8号

## 同総会設立8年目を迎えて

信州大学医学部保健学科同窓会会長 川上 由行

(信州大学医学部保健学科 検査技術科学専攻 病因病態検査学講座 教授)

「医療技術短期大学部後援会」の使命を継承し、アルプス会／桐の木会／臨嶺会／州嶺会を包括した組織「保健学科同窓会」を設立してから7年が経った。年月の経過の早さに驚く。大学院医学系研究科に「看護学／検査技術科学／理学療法学／作業療法学」の4分野から構成される「保健学専攻修士課程」が設置された2007年度には、諏訪中央病院名誉院長の鎌田實先生をお呼びして修士課程設置記念講演会「命を支えるということ」を開催した。また、「生涯保健学」と「医療生命科学」の2分野4領域から成る「博士後期課程」が念願叶って認可設置され、これまでの「修士課程」は「博士前期課程」に呼称変更された2009年度には、東大大学院教育学研究科長で教育学部長の武藤芳照先生をお招きして博士後期課程設置記念講演会「健康スポーツ医学の実践と教育」を開催した。この日に合わせ「信州大学大学院医学系研究科保健学専攻」の銘版を寄贈し、山沢学長、久保医学系研究科長（医学部長）、市川保健学専攻長（保健学科長／同窓会名誉会長）と同窓会長の私とで、中校舎正面玄関横に掲げる（写真）ことが出来た。

また、レストラン「ソレイユ」で開いた記念祝賀会では、山沢学長、久保医学系研究科長以外に、笹本副学長、赤羽／三浦／渡邊理事および副学長、常本監事、徳井経済学部長、武田理学部長、米田法曹法務研究科長、村上全学共通機構長に加えて、勝山長野県病院事業局長、長野県看護協会高橋専務理事、長野県臨床衛生検査技師会今井副会長、長野県理学療法士会市川会長ほか、竹内／田口／宮坂／成沢／富岡名誉教授をはじめ多数の来賓のご臨席を賜ることが出来た。

昨年春にメキシコに端を発した「新型インフルエンザ」が世界中で猛威を震ったが、ここ保健学科でもその騒動に見事に巻き込まれ、同窓会が例年支援して来ている「カー



ティン工科大学短期留学プログラム」が、中止に追い込まれたが、今年1月にはカーティン工科大学から「アレン先生」をお招きして開催した学术交流を支援することが出来た。

アッと言う間に8年目を迎えたが、母校の発展は実に目覚ましく、極めて順調に経緯して来ていることを喜ばしく思う。我が母校の保健学科、大学院博士前期課程そして博士後期課程で学び、巣立っていく卒業生／修了生が、先駆的な歩みをされることを期待しながら、またそんな人材を側面から支援していくための同窓会でありたいと考えている。



## 同窓会の皆様へ

信州大学医学部保健学科同総会名誉会長 **市川 元基**  
(信州大学医学部保健学科長／看護学専攻 小児・母性看護学講座 教授)

全国の国立大学法人では平成16年に始まった第1期中期目標・中期計画が平成21年度で最終年度を迎え、信州大学でも第1期中期目標期間における業務実績報告書等を文部科学省の国立大学法人大学評価・学位授与機構へ提出いたしました。この第1期中期目標・中期計画では大学全体としての目標・計画以外に各部署固有の目標・計画が記されていました。医学部保健学科・医学系研究科保健学専攻では固有の目標・計画として「高度専門職業人の養成に際し、客観的な評価体制を整備するために、客観的臨床試験(O S C E)に準じた評価システムを構築する。」「大学院修士課程の大学院(修士課程)開設について準備を進め、平成18年度までに成案を得る。」という2点を掲げました。客観的臨床試験については看護学専攻、検査技術科学専攻、理学療法学専攻、作業療法学専攻の教員がそれぞれ工夫を重ね、この臨床試験を学部教育に取り入れて、臨地実習前の学生教育に活かしています。大学院については平成19年4月に大学院医学系研究科修士課程を設置し、平成21年3月に第1期の修了生を社会へ送り出すことができました。第1期中期目標・中期計画では目標を大学院修士課程の設置に置いていましたが、教職員の皆さまの努力と同窓会の皆さまのご協力をいただきまして、平成21年4月に大学院医学系研究科博士後期課程を設置することができ、目標・計画を上回る実績を挙げる事ができたと思います。

保健学科・保健学専攻の整備が進行する中で、平成22年1月24日には大学院医学系研究科保健学専攻博士後期課程設置記念講演会を同窓会のお陰で開催することができました。医学部附属病院外来棟の大会

議室へ東京大学大学院教育学研究科長・教育学部長でいらっしゃる武藤芳照先生をお招きし、山沢清人信州大学長をはじめとする大学の理事・副学長・各学部長の皆さまにご出席

いただき、盛大な設置記念講演会になりました。武藤先生のお話はユーモアにあふれ興味深く、私ども教職員や学生に「これからもがんばるように」とエールを送っていただいたように感じました。大学にとって法人化後の同窓会の存在はますます重要なものになりつつあります。今後ともご支援・ご協力をお願いいたします。





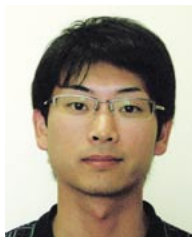
## 新入教員のご挨拶

### 新任の挨拶

佐々木 努

(作業療法学専攻 実践作業療法学講座)

本年度4月から作業療法学専攻の所属となりました佐々木努（ささきつとむ）と申します。これまで、小児領域（軽度発達障害児のお子さんを中心に）、身体障害領域（中枢神経疾患、神経変性疾患を中心に）の作業療法に携わってきました。学生の臨床実習の頃より、脳機能と行動の関係性に興味を持っており、評価法やその介入方法の研究を行っています。現在は、北海道の先生方との共同研究が中心ですが、松本の先生方とも一緒に活動していきたいと考えています。



広島で18年（高校卒業まで）、札幌で12年（大学と就職）、そして新たな生活を信州松本で始めることにこれ以上ない喜びを感じています。同時に、大学という学び舎で作業療法士を目指す学生とどのような語りができるのか、心を躍らせています。疑問を持ち続ける謙虚さと知ることへの貪欲さを忘れず、「なるほど!」と思える瞬間を見つけて行きたいと思います。今は、北海道ほど生魚が多くなく寂しい気持ちですが、山菜、そば、果物、松本城などなど松本のいい物・いい所・いい人をたくさん発見し、「松本の人間」に近づけるよう過ごして行きたいと思っています。よろしくお願ひします。

### 自己紹介

寺内 英真

(看護学専攻 成人・老年看護学講座)

2010年4月より信州大学医学部保健学科看護学専攻に赴任いたしました、寺内英真です。成人看護学を担当しています。

出身は静岡県という海と山に囲まれたところで、同じ県内の大学を卒業後、8年間看護師として臨床で働いていました。ここでは、脳神経外科、救急科、心臓血管外科を経験し、6年前より大学の教員をしています。自分が臨床で経験したことを系統立てて学生に伝えていくことはとても難しく、日々その方法について試行錯誤しているところです。



また、研究活動としては、術後せん妄について行っています。臨床において困っていることのひとつであり、ここ数年は臨床での研究でも盛んに取り上げられている研究課題です。術後せん妄の発症は、入院期間の延長や身体的・心理的負担の増強など患者・家族・看護師など医療者にとって不利益が多く、有効な対応策の考案・構築が望まれています。こういったニーズに応えられるように今後も研究を行っていきたいと思っています。これらのことに興味がある方は、ご連絡いただければありがたいと思います。

大学では見えにくい現在の臨床の状況など、実同窓生の皆さんからお話聞けたらうれしいなあとと思います。今後ともよろしくお願ひいたします。

### 災害と看護教育

深澤 佳代子

(看護学専攻 成人・老年看護学講座)

この4月から信州大学へ赴任致しましたが、3月まで新潟県の看護大学で9年間勤務していました。その間、平成16年、19年に水害や地震など大きな自然災害を3回経験しました。19年の地震では、大事には至りませんでした。原子力発電所の原子炉にヒビが入り、一時はかなり緊迫した状況でした。県内出身の学生も多く在籍しており、中には家族が被災した学生もいました。私の住んでいた地域は、被災地から少し離れていましたが余震の恐怖を体験しました。道路事情が悪い中、災害発生1週間後には現地へ健康調査に向かいましたが、瓦礫と化した住宅を目の当たりにし、胸が痛みました。また、調査では普段よりも血圧が高い住民が多かったのが印象的でした。



前任校では災害ガイドラインの整備を行い、県と災害基幹病院連携の災害医療訓練にも企画運営のメンバーとして参画しました。災害医療訓練には成人看護学分野の教員が引率し、学生も大勢参加しました。また、菅谷松本市長や富山大学災害救急講座の奥寺教授を講師とする授業や公開講座の開催、災害訓練における地域の方々との交流、県下の看護系大学による災害協議会発足など、災害を経験した地域にある大学ならではの災害準備期に

おける教育の基盤構築ができました。

松本は平成6年にサリン事件がありましたが、自然災害にはあまり縁のない安全な地域です。昨年、保健師助産師看護師学校養成所指定規則の一部改正で看護基礎教育における災害看護も入りましたが、今年のような異常気象の中、大雨による災害のニュースを見聞きする度に、普段から災害を身近なものと考え、看護教育の中に災害教育を定着させていく重要性を痛感する次第です。

今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

## 自己紹介

山崎 明美

(看護学専攻広域看護学講座(地域看護学))

このたび、23年間過ごした東京から、松本にまいりました。おかげさまで、大学も松本市も居心地は快適です。松本、長野の無農薬野菜や安全な食べ物にとっても興味を持って、今は情報収集しながら体験中です。



私の研究分野は健康教育、ヘルスプロモーションです。具体的には、HIV感染症予防・STD感染予防をふまえた性の健康支援です。HIV抗体検査の現場にも10年間関わっており、プレカウンセリングを担当してきました。若い世代への次世代育成支援もスクールカウンセラー等と活動&研究をしており、事業運営・企画を担当しています。加えて、HIV合併結核や結核予防対策もテーマにしています。

性の健康支援では、若い世代を対象にユーザーフレンドリーな対策を考えているのですが、30代以上や更年期世代のSTD/HIV感染予防に年齢的な親和性が高まっているので、この世代への対策にも関わって行きたいと思っています。どの世代も恋バナは興味を示してくれるので、そんなアプローチも試し中です。信州大学の学生の性の健康支援はどうなのかな、などということも考えたりしている昨今です。何より、健康で元気に教育、研究に携わっていききたいと思えます。

## 保健学科同窓会ホームページの リニューアルオープンのお知らせ

奥村 伸生

(保健学科同窓会幹事(臨嶺会会長))

保健学科同窓会も設立後8年目を迎えましたが、残念ながら同窓会ホームページは専任担当者がいないために細々とした運用になっておりました。本年に入り、信州大学のホームページの運用規定が変更され、同窓会のホームページを信州大学のホームページにリンクすることができなくなりました。これに伴い、保健学科同窓会のホームページをリニューアルすることになりました。

今までのホームページは不慣れな者が更新するには簡単ではありませんでしたが、新しいシステムでは比較的簡単にできるようになります。この機能を大いに利用して同窓会の皆様に新しい情報を提供できるように努力していきたいと考えております。

ご存知のように保健学科同窓会には看護学、検査技術科学、理学・作業療法学関係の3つの同窓会分科会があります。今回のリニューアルでは各分科会ホームページをリンクさせることにしました。しかし、現在ホームページが存在し運用しているのは検査技術科学関係同窓会分科会の臨嶺会です。他の分科会においてもこれを機にホームページを作成し運用されることを期待しております。

新しくオープンする保健学科同窓会ホームページのHOME案を掲載させていただきます。



なお、保健学科同窓会のホームページのURLは<http://www.mhoken.jp/>とこれまでの保健学科と同じものになります。各同窓会分科会のURLは次のようになります。

**保健学科同窓会HP** ➡ <http://www.mhoken.jp/>

看護学関係 (アルプス会・桐の木会) ➡ 未定

検査技術科学関係 (臨嶺会)

➡ <http://www.mhoken.jp/rinreikai/>

理学・作業療法学関係 (州嶺会)

➡ <http://www.mhoken.jp/shureikai/>

## カーティン工科大学短期留学



### カーティンプログラム 同窓会報告書

看護学専攻 3年次編入 松田 夏織

私は入学時にカーティン工科大学プログラムを知って大変興味を持ちましたが、自分の英語力不足と金銭面の不安で行くことについて悩んでいました。しかし、手続きから全体を通して大学側のサポートがあり、3週間も海外で生活できるという恵まれた機会は今後ないだろうと思い、参加を決めました。

オーストラリアでの最初の1週間は異なる気候や環境に慣れず、苦勞しました。また、予想はしていたけれど、自分の英語力の無さを改めて実感し、焦りと情けなさから気が滅入ることもありました。しかし、ホームステイ先のホストマザーは私の拙い英語をしっかり聞いてくださり、また私が理解できるまで説明してくれるなど、恵まれた環境の中でコミュニケーションをとることが出来ました。ホストマザーとの暮らしや大学生活の中で、新しい単語を覚えたり、異文化を学べたりと、毎日の新しい発見に楽しみや充実感を感じることが出来ました。オーストラリアでの生活を通して、日本にいたら思うことも無かった「もっと英語を勉強して話せるようになりたい」という思いが生まれ、自分にとってすごく良い刺激になりました。貴重な経験をさせていただきました。

大学での授業内容は、専門科目、解剖学、アボリジニ文化の講義など充実した内容を学ぶことが出来ました。現地の医療施設見学も興味深いものでした。見学した高齢者介護施設は日本の介護施設のイメージとは

異なり、高貴で清潔な雰囲気・充実した設備に驚かされました。また介護施設、病院などでは医療者の腰への負担をかけないように「人・物を持ち上げない」という理念を掲げ、組織で取り組んでいることにも感激しました。実際に感じた日本とオーストラリアとの違いを今後の学びで役立てられたらと思います。

このプログラムを通して、沢山の方々と関わり、学びを得ることが出来ました。「来てよかった！」と思えることが多く、本当に充実した3週間でした。この貴重な経験は、今後の自分の人生において必ず役に立つものだと思っています。

一緒に参加した保健学科のメンバーや先生方はもちろん、カーティン工科大学プログラムを支えていただいた皆様に感謝しています。ありがとうございました。

### カーティン工科大学短期留学を通じて

検査技術科学専攻 3年 富木 大基

私は3週間の短期留学を通じて様々なことを経験しました。まずホストファミリーとの生活において、ホスト先にはホストマザーと私と同年の息子と13歳の双子の息子がおり、特に双子との触れ合いが一番多く、彼らは明るく積極的に私と接してくれ、オーストラリアンフットボールのルールや今夢中になっているゲーム、遊びなどさまざまなことについて分かりやすい英語で丁寧に説明してくれました。またホストマザーはとても社交的で大らかな人で友達が多く、私はいろいろな人と話す機会を持つことができました。また休日はフリーマンツルの街や浜辺などに連れて行ってもらい、とても楽しい時間を過ごしました。私にとって彼らと過ごした時間はこの短期留学において一番の思い出です。

カーティン工科大学では英語、self science、解剖学、血液学の授業、実習などを受け、日常英語や医療英語、さらに日本では経験できない人体標本に触れることができ、また検査のAPTTの実習を体験し、信州





大学で学んできた知識をより深いものとすることができました。また課外授業では赤十字やパース病院に行き、オーストラリアで行われている

検査やその体系について学ぶことができました。

この短期留学を通じて私は留学前に比べ海外の医療、海外での生活により興味を持つことができました。これから先また再び留学する機会があるかはわかりませんが、将来海外で働くことも視野に入れ、これから先の大学生活において日常英語の勉強を独自に行っていく、検査の勉強において重要な専門用語などを積極的に英語で覚えるなど、海外の医療に対応できるような知識を身につけていきたいと思います。

## Curtin 工科大学短期留学報告書

作業療法学専攻2年 桑原 舞

信州大学保健学科にCurtin工科大学短期留学のプログラムがあることを知ったのは、高校生の頃でした。なかなかこのような短期留学の機会はないだろう、信州大学に入学してどうしても行きたい！という思いを入学後も持ち続け、2年生になった今年、ついに参加することに決めました。

Perthでの3週間は毎日が充実しており、短い期間の中でとてもたくさんの経験をして、いろいろなことを感じました。参加者がほとんど3年生のこともあり、2年生の私には理解が難しかったり日本との違いを知らなかったりもしましたが、それすらも「こんなにもわからないことがある」ということを感じることもできた良い経験であったと思います。また、普段の学校生活では他の専攻とあまり関わりがないため、自分の専攻以外について学べることはとても貴重な体験でした。一緒に参加した先輩や先生から現場での話を聞かせていただいたり情報交換をしたりしたこと

も、プログラムに参加しなければなかなかできないことであったと思います。

私にとって最も刺激的で最も大きな山だったのは、ホームステイです。本当に楽しい3週間だった、行ってよかった。そう感じられたのは、ホストファミリーのおかげだと思っています。ホームステイ先では自分で朝食・昼食を作り、自分で洗濯をし、他にも自分のことは自分でやるという生活をしていました。しかしそのような自立した生活をしていたからこそ、ホストファミリーにも良い意味で遠慮をせず、気兼ねなく接することができたと思います。本当の家族のように私を扱ってくれたホストファミリーには感謝をもしきれません。

この3週間で自分が変わったと思うことは、視野が広がったことと、自ら行動を起こすようになったということです。英語であろうと、伝えようとすれば気持ちは伝わる。制限なんてない、やりたいことはなんでもやってみればいい。そう思えるようになりました。今までの私なら一歩引いてしまっていたようなことも、オーストラリアでは積極的に挑戦できていたように思います。これから作業療法の勉強をしていく上で、自分で限界を決めず、貪欲になって励もうと思います。

このプログラムで本当に素晴らしい、一生ものの経験をすることができました。ここで得た体験はこれからの勉強や実習で生かしていきたいです。参加を勧めてくれた先生、お金の問題でサポートしてくれた親に心から感謝します。



## 平成21年度 活動報告

### ●作業療法学専攻（21年度購入）



上肢機能検査，感覚検査，発達検査などの検査器具を購入しました。

作業療法評価学の学生実習で活用させていただきます。

### ●理学療法学専攻（21年度購入）



重心動揺計を1台購入しました。授業や卒業研究，フィールドワークなどで活用させていただきます。

### ●看護学専攻（20年度購入）



#### ①左側

採血静脈注射シュミレーター

看護師が静脈注射・点滴静脈注射を行うことも多くなったこともあり、点滴の刺入等の演習を行っています。これは電動で逆流も確認できる腕モデルです。ただし針を刺す部分のパットはすぐにぼろぼろになり、交換用パットは一つ1万円になります。

#### ②右側

男性用導尿シュミレーター

導尿は男性・女性ともに実施できるように演習していますが、男性用モデルが少ない状況でした。また最近男子学生の入学が多くなったこともあり、演習用に男性用導尿モデルを購入しました。

### ●大学院銘板

今年度より「信州大学大学院医学系研究科保健学専攻博士後期課程」が設置されたのを期に、中校舎玄関前の銘板も新しくなりました。

（左から、保健学科長（同窓会名誉会長）市川元基先生，信州大学学長山沢清人先生，医学部長 久保惠嗣先生，同窓会会長 川上由行先生）





## ●博士課程設置記念講演 1, 2

平成22年1月24日に博士課程設置記念講演会を開催しました。「健康スポーツ医学の実践と教育」をテーマ



に、東京大学大学院教育学研究科長・教育学部長 武藤芳照先生に御講演いただきました。「し



ん、し、ゆ、う、だ、い、が、く、お、め、で、と、う」のそれぞれを頭文字にした13のテーマで、とても楽しい講演でした。

## ●卒業祝賀会



平成22年3月21日に旭会館1階で卒業祝賀会を開催しました。検査技術科学専攻の学生と川上先生、奥村先生です。袴姿は華やかですね。

## ●特別講演



平成21年6月27日に、『多様性の宇宙へー障害者問題から環境問題を読み解くー』をテーマに、安積 遊歩氏（CILくにたち援助為センター代表）の特別講演を開催しました。

## ●学生課外活動



検査技術科学専攻で恒例の学生によるスポーツ大会の風景です。

# 総会記録

## 平成22年度信州大学医学部保健学科同窓会総会議事録

日 時 平成22年6月26日(土) 15時15分～16時15分

場 所 保健学科311講義室

出席者 市川元基同窓会名誉会長・奥村伸生・柳澤節子・下里誠二・三好 圭・伊藤喜世子・小穴こず枝・亀子文子・村山忠勇・寺澤文子・永田美香・亀谷博美・山本麻菜・藤田梨菜・山崎春奈・山田佳苗・阪口しげ子・福島佐千恵・白濱 零・伊藤彩美・松井千裕・水谷早貴・吉澤友章・堀 敦詞・西沢公美・大平雅美・植田秀穂

1. 保健学科同窓会奥村幹事挨拶
2. 保健学科同窓会名誉会長(学科長)挨拶
3. 議長選出  
亀谷博美氏を選出した。
4. 平成21年度事業報告及び決算報告について  
資料1-1により下里誠二幹事から事業報告があり、続いて資料1-2により柳澤節子幹事から決算報告があり承認された。
5. 平成21年度委任経理金及び記念事業等特別積立繰越金について  
資料2により柳澤節子幹事から報告があり承認された。
6. 平成21年度会計監査報告  
資料3より寺澤文子監事から平成22年6月10日(木)に青木 朗監事と通帳・帳簿・証拠書類を確認したところ適正に処理されていた旨の報告があった。
7. 平成22年度会費納入状況報告書  
資料4により柳澤節子幹事から説明があり、会費納入に対して更なる協力要請があった。
8. 平成22年度事業計画及び予算(案)について  
資料5-1により下里誠二幹事から事業計画の説明があり、続いて資料5-2により柳澤節子幹事から予算(案)の説明があり承認された。
9. その他  
なし。

# 平成21年度事業報告

## 1. 在校生の教育支援及び保健学科の運営補助

- 1) 学生図書購入
- 2) 学術国際交流推進(オーストラリア, カーティン工科大学短期留学プログラム)
- 3) 特別講演の開催  
『多様性の宇宙へー障害者問題から環境問題を読み解くー』  
安積 遊歩氏 CILくにたち援助センター代表  
平成21年6月27日(土) 13:00~15:00  
旭総合研究棟 9階講義室
- 4) 大学院運営補助
- 5) 実習指導者連絡協議会開催補助  
・検査技術科学専攻  
・理学・作業療法学専攻  
・看護学専攻
- 6) 卒業祝賀会補助
- 7) 卒業記念品の贈呈  
・卒業式集合写真  
・優秀生表彰記念楯
- 8) 就職活動支援
- 9) 入試広報活動補助  
・キャンパス見学会補助  
・各特別選抜試験および一般選抜試験補助
- 10) 学生課外活動支援  
・新入生合宿研修補助  
・松本ぼんぼん参加補助  
・検査技術科学専攻スポーツ大会  
・学生のボランティア参加の交通費補助
- 11) 学習環境整備  
・理学療法学専攻:重心動揺計、作業療法学専攻:上肢機能や発達などの検査用具
- 12) 博士後期課程設置記念講演会及び懇親会  
講演会  
「健康スポーツ医学の実践と教育」  
東京大学大学院教育学研究科長・教育学部長  
武藤 芳照 先生  
平成22年1月24日(日) 13:00~14:30  
医学部附属病院新外来棟 4階大会議室  
懇親会 14:45~16:30  
附属病院新外来棟 5階 レストラン「ソレイユ」

## 2. 保健学科同窓会分科会支援

- 1) 看護学専攻:アルプス会・桐の木会
- 2) 検査技術科学専攻:臨嶺会
- 3) 理学療法学専攻・作業療法学専攻:州嶺会

## 3. 保健学科同窓会の運営について

- 1) 同窓会ホームページの運営
- 2) 同窓会だより第7号の発行
- 3) 同窓会総会および役員会の開催
  - ①平成21年度総会の開催  
平成21年6月27日(土) 15:15~16:15  
旭総合研究棟 9階講義室
  - ②役員会の開催  
平成22年6月17日(木) 18:30~20:30  
保健学科第一会議室
  - ③幹事会の開催  
平成21年9月15日(火) 18:30~20:30  
保健学科小会議室  
・新旧役員引継ぎ  
平成22年5月26日(水) 18:00~20:00  
保健学科小会議室  
・平成22年度入学生の会費納入状況について  
・平成21年度事業報告、決算報告案作成  
・平成22年度事業計画、予算案作成について  
・保健学科同窓会ホームページの新規作成について
- 4) 同窓会事務局の運営
- 5) 信州大学同窓会連合会との連携
  - ・平成21年7月25日(土)  
第8回信州大学同窓会連合会役員会
    1. 信州大学創立60周年記念事業報告
    2. 信州大学同窓会連合会費及び事業計画
    3. 信州大学同窓会連合会代表・副代表の選出について
  - ・平成21年11月14日(土)  
第9回信州大学同窓会連合会役員会
    1. 信州大学同窓会連合会代表・副代表の選出について  
代表:文理学部同窓会会長 可知 偉行氏  
副代表:  
人文学部同窓会副会長 鈴木 崇夫氏  
副代表:  
工学部同窓会理事長 柳沢 武三郎氏  
を選出した。
  - ・平成22年2月17日(水)  
信州大学同窓会連合会幹事会
    1. 平成21年度表彰者(団体)について  
バンクーバー五輪で活躍した「小平奈緒氏、原田窓香氏、小口貴久氏」  
信州大学女子サッカー部 を表彰することとした
- 6) 信州医学振興会支援



# 平成21年度医学部保健学科同窓会決算書

## 収 入

平成22年5月31日現在  
(単位:円)

事 項	21年度予算額	21年度決算額	増減(－は減)
前年度繰越金	981,026	981,026	0
会 費(在校生)	910,000	910,000	0
会 費(新入生・3年次編入・大学院含む)	7,935,000	7,935,000	0
利 息	0	2,092	-2,092
合 計	9,826,026	9,828,118	-2,092

## 支 出

事 項	21年度予算額	21年度決算額	増減(－は減)	
1. 在校生の教育支援及び保健学科の運営費補助	・図書購入費	500,000	500,000	0
	・学術国際交流推進経費	700,000	450,000	250,000
	・特別講演会経費	50,000	14,340	35,660
	・実習指導者連絡協議会経費	100,000	82,467	17,533
	・卒業祝賀会経費	300,000	287,000	13,000
	・卒業生記念品代	170,000	182,200	-12,200
	・就職活動支援	0	0	0
	・入試広報活動経費	200,000	201,660	-1,660
	・学生課外活動経費	150,000	102,380	47,620
	・学習環境整備	1,400,000	1,200,000	200,000
	・記念事業等特別積立金	800,000	800,000	0
小 計	4,370,000	3,820,047	549,953	
2. 保健学科同窓会分科会(各専攻単位)運営費補助	・アルプス会・桐の木会	1,360,000	1,360,000	0
	・臨 嶺 会	860,000	860,000	0
	・州 嶺 会	840,000	840,000	0
	・上記振込み手数料	1,380	1,380	0
小 計	3,061,380	3,061,380	0	
3. 保健学科同窓会運営費	・同窓会ホームページ及び会報編集会議等	0	0	0
	・同窓会だより	420,000	378,210	41,790
	・同窓会総会等経費	300,000	169,640	130,360
	・事務処理等的人件費	640,000	640,000	0
	・通信費	30,000	35,280	-5,280
	・消耗品	30,000	26,422	3,578
	・電気・電話使用料	30,000	19,310	10,690
	・信州大学同窓会連合会会費	70,315	70,315	0
	・信州医学振興会会費	50,000	50,000	0
	小 計	1,570,315	1,389,177	181,138
4. 予備費	824,331	202,465	621,866	
合 計	9,826,026	8,473,069	1,352,957	

収 入	9,828,118
支 出	8,473,069
差引残額(翌年度繰越額)	1,355,049

## 平成21年度委任経理金・記念事業等特別積立金繰越額

(単位:円)

1. 委任経理金						2. 記念事業等特別積立金				
事 項	20年度繰越額	21年度内訳				事 項	20年度繰越額	21年度内訳		
		振込金額	事務手数料8%除いた金額	支出金額	21年度繰越額			収 入	支 出	21年度繰越額
図 書 購 入 費	120,118	500,000	460,000	500,000	80,118	記念事業等特別積立金	3,409,379	800,000	0	4,209,379
学術国際交流推進経費	2,353,276	450,000	414,000	0	2,767,276			利息(8月)	567	4,209,946
大学院立上げ活動経費	770,770	0	0	0	770,770			利息(2月)	698	4,210,644
特別講演会経費	597,325	0	0	124,680	472,645			博士課程設置記念事業	321,680	3,888,964
								計	801,265	321,680

# 平成22年度事業計画(案)

1. 在校生の教育支援及び保健学科の運営補助
  - 1) 学生図書購入
  - 2) 学術国際交流推進(オーストラリア, カーティン工科大学短期留学プログラム)
  - 3) 特別講演の開催
    - 平成22年度保健学科同窓会総会特別講演
    - 『脳性まひのリハビリテーション—まなざしからひろいあいへー』
    - 熊谷晋一郎(小児科医・『リハビリの夜』著者)
    - 平成22年6月26日(土) 13:00～15:00 保健学科311教室
    - 他2回
  - 4) 実習指導者連絡協議会開催補助
  - 5) 卒業祝賀会補助
  - 6) 卒業記念品の贈呈
    - ・卒業式集合写真
    - ・優秀学生表彰用記念楯
  - 7) 就職活動支援 各専攻の就職支援活動状況の把握
  - 8) 入試広報活動補助
    - ・キャンパス見学会補助
    - ・各特別選抜試験および一般選抜試験補助
  - 9) 学生課外活動支援
    - ・新入生合宿研修補助
    - ・松本ぼんぼん参加補助
    - ・学生のボランティア参加等の活動支援
  - 10) 学習環境整備費
    - ・大学院学生支援
    - ・学部生支援
2. 保健学科同窓会分科会支援
  - 1) 看護学専攻: アルプス会・桐の木会
  - 2) 検査技術科学専攻: 臨嶺会
  - 3) 理学療法学専攻・作業療法学専攻: 州嶺会
3. 保健学科同窓会の運営について
  - 1) 同窓会ホームページの運営
  - 2) 同窓会だより第8号の発行
  - 3) 同窓会総会および役員会の開催
    - ① 平成22年度総会の開催
      - 平成22年6月26日(土) 15:15～16:15 保健学科311講義室
    - ② 役員会の開催
      - 年1回5～6月
    - ③ 幹事会の開催
  - 4) 同窓会事務局の運営
  - 5) 信州大学同窓会連合会との連携
  - 6) 信州医学振興会支援

## 平成22年度医学部保健学科同窓会予算(案)

### 収 入

平成22年5月31日現在  
(単位:円)

事 項	22年度予算額	21年度決算額	増減(一は減)
前年度繰越	1,355,049	981,026	374,023
会 費(在校生)	1,235,000	910,000	325,000
会 費(新生入・3年次編入生・大学院含む)	8,155,000	7,935,000	220,000
利 息	0	2,092	-2,092
合 計	10,745,049	9,828,118	916,931

### 支 出

事 項	22年度予算額	21年度決算額	増減(一は減)
1. 在校生の教育支援及び保健学科の運営費補助			
・図書購入費	700,000	500,000	200,000
・学術国際交流推進経費	700,000	450,000	250,000
・特別講演会経費	100,000	14,340	85,660
・実習指導者連絡協議会経費	150,000	82,467	67,533
・卒業祝賀会経費	300,000	287,000	13,000
・卒業生記念品代	190,000	182,200	7,800
・就職活動支援	50,000	0	50,000
・入試広報活動経費	220,000	201,660	18,340
・学生課外活動経費	200,000	102,380	97,620
・学習環境整備	2,400,000	1,200,000	1,200,000
・記念事業等特別積立金	0	800,000	-800,000
小 計	5,010,000	3,820,047	1,189,953
2. 保健学科同窓会分科会(各専攻単位)運営費補助			
・アルプス会・桐の木会	1,400,000	1,360,000	40,000
・臨嶺会	880,000	860,000	20,000
・州嶺会	900,000	840,000	60,000
・上記振込み手数料	1,380	1,380	0
小 計	3,181,380	3,061,380	120,000
3. 保健学科同窓会運営費			
・同窓会ホームページ	250,000	0	250,000
・同窓会だより	400,000	378,210	21,790
・同窓会総会等会議費	160,000	169,640	-9,640
・人件費	640,000	640,000	0
・通信費	40,000	35,280	4,720
・消耗品	30,000	26,422	3,578
・電気・電話使用料	30,000	19,310	10,690
・信州大学同窓会連合会会費	70,315	70,315	0
・信州医学振興会会費	50,000	50,000	0
小 計	1,670,315	1,389,177	281,138
4. 予 備 費	883,354	202,465	680,889
合 計	10,745,049	8,473,069	2,271,980



## 同窓会役員

名誉会長：市川 元基（医学部保健学科）	理事：検査技術科学専攻4名	理事：大学院(前期)1名
会長：川上 由行（医学部保健学科）	富木 大貴（検査技術科学専攻学生）	西沢 公美（博士前期課程院生）
副会長：伊藤喜世子（医学部附属病院）	赤羽 貴行（安曇野赤十字病院）	大学院(後期)1名
理事：看護学専攻8名	川崎 健治（医学部附属病院）	福島佐千恵（博士後期課程院生）
川口 涼太（看護学専攻学生）	小穴こず枝（医学部保健学科）	幹事：奥村 伸生（医学部保健学科）
白濱 零（看護学専攻学生）	理学療法学専攻2名	下里 誠二（医学部保健学科）
松本あつ子（医学部附属病院）	岩崎健太郎（理学療法学専攻学生）	柳澤 節子（医学部保健学科）
三井 貞代（医学部附属病院）	杉田 勇（諏訪中央病院）	三好 圭（医学部保健学科）
百瀬 悦子（医学部附属病院）	作業療法学専攻2名	監事：青木 朗（老健保健施設ハーモニー）
細田かず子（医学部附属病院）	赤羽 大輝（作業療法学専攻学生）	寺澤 文子（医学部保健学科）
亀谷 博美（医学部附属病院）	井戸 芳和（医学部附属病院）	事務：清水 敏勝
三輪百合子（長野県立須坂病院）		

## 信州大学医学部保健学科同窓会会則

### 信州大学医学部保健学科同窓会会則

#### 第1章 総則

- 第1条 本会は、信州大学医学部保健学科同窓会(以下「本会」という。)と称する。
- 第2条 本会は、事務局を松本市旭3丁目1番1号 信州大学医学部保健学科内に置く。
- 第3条 本会は、会員相互の親睦を図るとともに、母校との連携を保ち、その発展に寄与することを目的とする。
- 第4条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行なう。
- 一 会員の親睦及び研修に必要な事項
  - 二 母校の発展に関する事項
  - 三 その他必要と認められる事項
- 第5条 本会は、必要に応じて各専攻等を単位とする分科会を置くことができる。
- 2 分科会の設置及び運営に関する事項は、理事会の承認を経て各分科会が定める。

#### 第2章 会員

- 第6条 本会の会員は次のとおりとする。
- 一 正会員
    - イ 信州大学医学部附属助産婦学校、信州大学医学部附属衛生検査技師学校、信州大学医学部附属臨床検査技師学校の卒業生
    - ロ 信州大学医療技術短期大学の卒業生
    - ハ 信州大学医学部保健学科(以下「本学科」という)の在学生及び卒業生
  - 二 信州大学大学院医学系研究科保健学専攻博士前期課程及び後期課程(以下「本大学院」という)の在学生及び修了生
- 二 特別会員
    - イ 本学科教員
    - ロ 本学科元教員
    - ハ 前項以外の者で理事会の承認を得た者
- 第7条 会員が死亡または会員たる資格を喪失したときは、退会したものとみなす。

- 第8条 会員が、本会の名誉を傷つけ、または本会の趣旨に反する行為をしたときは、総会において出席会員の4分の3以上の議決により、これを除名することができる。
- 第9条 正会員は、細則に定める会費を入学時に納入するものとする。また、3年次編入生については編入時に4万円納入するものとする。ただし、退会または除名された会員が既に納入した会費その他の拠出金は返還しないものとする。

#### 第3章 役員等

- 第10条 本会に次の役員を置く。
- 一 会長 1名
  - 二 副会長 1名
  - 三 理事 18名(看護8名;検査4名;理学2名;作業2名;大学院生博士前期課程1名、後期課程1名)
  - 四 幹事 若干名
  - 五 監事 2名
- 第11条 役員は、次の職務を行なう。
- 一 会長は、本会を代表し、会務を総括する。
  - 二 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。
  - 三 理事は、会員の代表として本会の運営に当たる。
  - 四 幹事は、本会の実務に当たる。
  - 五 監事は、本会の会計を監査し、総会に報告する。
- 第12条 役員は、次により選出又は委嘱する。
- 一 会長は、総会において正会員の中から選出する。
  - 二 副会長は、会長が正会員の中から推薦し委嘱する。
  - 三 理事は、正会員の中から各専攻毎に選出し委嘱する。
  - 四 幹事は、会長が委嘱する。
  - 五 監事は、総会において正会員の中から選出する。
- 第13条 役員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。
- 2 補欠による役員の任期は、前任者の残任期間とする。
  - 3 役員は、任期が満了しても後任者が就任するまではその職務を行なうものとする。

#### 第4章 名誉会長及び顧問

- 第14条 本会に名誉会長を置き、本学科の学科長を推戴する。
- 第15条 本会に顧問を置くことができる。顧問は、総会の議を経て会長が委嘱する。
- 2 顧問は、重要事項について会長の相談に応ずる。

#### 第5章 会議

- 第16条 総会は、原則として毎年1回開催し、次の事項を審議決定する。
- 一 事業及び決算報告
  - 二 事業計画及び予算
  - 三 会則の制定及び改廃
  - 四 役員を選出
  - 五 顧問の推挙
  - 六 その他の必要事項
- 2 会長は、総会を召集し、理事会の議を経て前項に定める事項を提案する。
- 第17条 会長は必要と認めるとき、臨時総会を開催することができる。
- 第18条 総会の議長は、出席会員の中から選出する。
- 第19条 総会は、日時、場所、付議すべき事項等を示して召集する。
- 第20条 総会に出席できない会員は、あらかじめ文書をもって意見を表示することができる。

- 第21条 総会の議事は出席会員の過半数で決し、可否同数のときは議長がこれを決する。
- 第22条 総会は、議事録を作成し、これを保存する。
- 第23条 理事会は、会長、副会長、理事及び幹事によって組織する。
- 第24条 理事会は、会長が必要と認めるとき、又は理事の5分の2以上の要求があったときに開催する。
- 第25条 理事会は、会長が召集し、議長となる。
- 第26条 理事会の議事は、出席者の過半数で決する。
- 第27条 理事会は必要に応じて委員会を置くことができる。

#### 第6章 会計

- 第28条 本会の経理は、会費及び寄付金その他の収入をもって充てる。
- 第29条 本会の会計年度は、毎年4月1日から始まり翌年3月31日に終わる。

#### 附 則

- この会則は、平成15年4月1日から施行する。
- この会則は、平成16年4月1日から施行する。
- この会則は、平成19年4月1日から施行する。
- この会則は、平成21年4月1日から施行する。

### 信州大学医学部保健学科同窓会会計細則

1. 同窓会費は6万円とし、本学本学科入学時に一括納入することを原則とする。また、3年次編入生及び修士大学院生については、編入時もしくは大学院入学時に4万円を納入するものとする。ただし、本人からの申し出があった場合は、同窓会理事会が分割払いを認めることができる。
2. 本学科同窓会費6万円の使用内訳は、次のとおりとする。ただし、この枠を越えて使用する必要が生じたときは、同窓会理事会の承認を必要とする。
  - (1) 在校生の教育支援及び医学部保健学科の運営に関すること。 3万円
  - (2) 保健学科同窓会分科会(各専攻単位)の運営に関すること。 2万円
  - (3) 医学部保健学科同窓会としての運営に関すること。 1万円また、3年次編入生、博士前期課程及び博士後期課程の大学院生の同窓会費4万円の使用内訳は、次のとおりとする。ただし、この枠を超えて使用する必要が生じたときは、同窓会理事会の承認を必要とする。
  - (1) 在校生の教育支援及び医学部保健学科の運営に関すること。 1万5千円
  - (2) 保健学科同窓会分科会(各専攻単位)の運営に関すること。 2万円
  - (3) 医学部保健学科同窓会としての運営に関すること。 5千円保健学科同窓会会員が博士前期課程および博士後期課程に入学した場合は、(1)在学生の教育支援及び医学部保健学科の運営に関して1万5千円を納入すること。
3. 金融機関への振込手数料は、会員の負担とする。
4. 幹事代表者名で金融機関に同窓会の口座を設け、会計担当幹事が通帳・印鑑を管理する。
5. 同窓会費の徴収は、入学時に行ない、徴収後は速やかに同窓会費支払者リストを作成する。
6. 会計担当幹事は、会計年度終了後に速やかに決算報告書を作成し、監査を受ける。
7. 本細則の改正は、同窓会総会で行なう。

#### 附 則

- この細則は、平成15年4月1日から施行する。
- この細則は、平成16年4月1日から施行する。
- この細則は、平成19年4月1日から施行する。
- この細則は、平成21年4月1日から施行する。

#### 編・集・後・記

今年の夏は、異常気象で連日の猛暑日でした。そんな暑さの中、一部の学生は、南校舎4階の運動療法実習室で、夏の間も勉強していました。同窓会で購入してもらった扇風機を回し、窓を開けて風通しを良くしているにもかかわらず、ただ座って話をしているだけで汗が流れて来るような室温でした。でも、そんな環境の中でも、文句を言わず

に勉強をしている学生達の根性と集中力には驚くばかりです。

今年はホームページがリニューアルされます。これからは「同窓会だより」と「ホームページ」の2本柱で、保健学科同窓会の広報的な役割を担えれば、と思っています。

保健学科 M. K.